

長年にわたる学校を挙げての海岸清掃活動で

虎杖小が海上保安庁長官表彰受賞

本町の歴史が残る観光スポットの一つ、アヨロ海岸の清掃活動を25年にわたり取り組んでいる虎杖小学校（関東英政校長、35人）が、海上保安庁長官表彰を受賞しました。同小で行われた伝達式で、平山仁志室蘭海上保安部長から賞状と盾、記念品が手渡され、児童らの長年の取り組みがたたえられました。

全校挙げての伝統行事の受賞に、児童会副会長の津端龍志君（5年）は「歴代の先輩からつないできて、ここまで続けてこれたのがうれしい」と喜びを話しました。式後は室蘭海上保安部の職員による海洋環境を守るための講習やクイズも行われ、児童は「海岸清掃はすごく海のためになるんだと分かった。これからもみんなで浜をきれいにしていきたい」と感想を話していました。（7月25日）



しらおい食育防災センター栄養教諭

谷村真美さん 道学校給食功労者表彰

今回の表彰は全道で谷村さんを含め6人が受賞。谷村さんは地域の生産者や食品業者と協働して地元食材を使用した給食献立の充実や食育推進への尽力が認められました。しらおい食育防災センター（パクパクしらおい）を有効活用した探検ツアーなども開催しています。

谷村さんは「給食の中でもふるさと給食は、白老の文化への理解や愛着、感謝の気持ちを養うことを狙いにしています。給食の時間で、子どもたちがメニューのヒントになる話をくれたり、『このメニューがおいしい』と笑顔で言ってもらえるのがうれしいです。地元産物やアイヌ文化を生かした新たな献立を今後も増やし、食の大切さを伝えていきたい」と抱負を話していました。（8月2日）



元陣屋資料館のガイド役高校生のお誘いがきっかけで

白老東高校2年生40人が札幌の高校生と共同学習

文科省の事業の一環として来町したのは北海学園札幌高校2年生17人。昨年末に元陣屋資料館で展示案内活動に取り組んでいる白老東高校生4人が札幌の同校に発表で訪れた際、白老に来てくださいーと呼び掛けたのがきっかけ。地域観光の比較探究活動として観光資源を体験して、地域の魅力と共生社会の実現と地域の魅力を学ぶ共同学習を行いました。

両校生徒はウポポイを訪れ、古式伝統舞踊や博物館を熱心に見学しました。昼食はアイヌ伝統料理のオハウを食べました。また、札幌の生徒は元陣屋資料館で展示解説活動をしている白老東高校生4人の案内で、資料館内の絵図などを見学。本町の文化に触れた札幌の高校生は「もっとアイヌ民族のことを勉強して伝えたい」「白老東高校の生徒さんが率先して地域のことを教えてくれてうれしかった」と話していました。（7月24日）



よろいかぶとの試着、手焼きせんべい・抹茶、たたら製鉄、アイヌ古式舞踊…

「陣屋の日イベント2023」盛況



昨年10月、北海道遺産に選定された仙台藩白老元陣屋で8月11日、開催されました。当日は上記催しのほかに、わたあめやフランクフルト、ドリンクと縁日のようなお店も出現。親子連れや子どもたちが多彩な体験を通して、思い思いに白老の夏を楽しんでいました。